

平成 31 年度 西砂学習館運営協議会（令和元年 12 月）会議録概要

日 時：令和元年 12 月 11 日（水）午後 6 時～8 時 30 分

出 席：大橋 加藤 広瀬 進藤 長谷川 岩元 森 増田

事務局：石川 俣本

欠 席：小笠原 小林

1. 開会のあいさつ

大橋：12 月もまもなく中盤に入り今年をしっかりと締め括る週になってきた。今日は決めなくてはいけない事もあるがしっかりと年を納めて、新しい年を迎えたい。

2. 平成 31 年度地域活性化講座について

（1）「パパもママも学びたい！楽しみたい！にしすな夜間塾～姿勢教室」について

石川：講師の佐藤先生とメールで打ち合わせをした。先生には実技と講義をお願いする。会場は西砂児童館で、謝礼は 12,000 円を予定。市報は西砂川地域限定の為なし。代わりに西砂川地区の小・中学校にチラシを配布。プラスしてウェブサイトみんなの西砂川に掲載。

内容は資料と、人体の骨格の模型を使い可動域等を分かり易く解説。立位での体操は身体の歪みが分かり概ね時間は 90 分弱。ヨガマット・スマホのピンジャックが繋がる CD ラジカセ・骨の模型を置く長机、予め資料は事務局で用意。子どもは猫背になり易いが小学生高学年位に姿勢を直しておくとい生涯姿勢がいいので、保護者だけでなくお子さんにも参加して貰いたい。

（2）西砂サマーイベントの企画について

石川：先週の土曜日に家庭教育講座「運動が好きになる遊び術」で親と一緒にのスポーツ教室を行った。運動会の徒競走で速く走れる講座。内容はバスタオルを子の腰に掛けて親が持ち、歩く時に負荷を与える。野球部の選手がタイヤを引く時に似て、出る足の方に腰を出してあげると速く走れる。先生には良い返事を戴いている。

大橋：対象が 3 歳～小学 4 年生とのことだが小学校 5、6 年生が含まれていない意味合いは。

石川：家庭教育講座の場合謝礼が使える年代に分かれていると思う。

大橋：夜間塾なら親子で参加出来るしサマーイベントなら小学校 6 年生迄を対象にするべき。学年は延ばせるが子ども同士の参加に特化すればやはり夜間塾がいいと思う。

懸念するのはサマーイベントは回数が 5 回しかないがまだ講座の内容を検証していない。人気のパンづくり、運動系、図書館イベントで 3 回は決まっている。自由研究や夏休みの宿題の講座をどこに入れるかを詰めていない。5 回が限度の中で出来るだけ子ども達の記憶に残る講座が出来たらいい。候補にするのはいいが、「やりま

しょう」は違う気がする。西砂サマーイベントを3年取り組み、どこの館でも取り組めるようなマニュアルを作成したいと思っている。費用の面、食事の内容の面、午後の講座の組み方の面を他の5館に啓発していき夏休みの子どもの居場所が増えたらいい。食品ロスの事も子ども達に教えたいのでマニュアル作成は西砂学習館の使命だと考えている。予算措置で目途が付いた為、話をするに至った。

石川：今迄小林委員に報酬を払い、その中から材料費を払って戴いてるが、講座の食材費を需用費で出す分には大丈夫である。

大橋：小林委員に謝礼が出ないことになるがサマーイベントは地運協のメンバーが支えていると考えるとみんなが同じ立場で参加している。予算化されたので他の学習館にもサマーイベントを勧める事が出来る。5回の会だが子ども達に出来るだけ多くの事を学んで貰いたい。6館がそれぞれサマーイベントを行えば子ども達が参加出来る機会が多くなり夢も膨らんでいる。

午後の講座も3時間あるとやはり飽きてしまう。半分は学習支援だが、残り半分は折り紙教室やダブルダッチ、ヒップホップダンス、オセロの必勝法等子ども達が遊びながら楽しいことを教えられたらいい。そうすれば子ども達が午後も残ってくれると思う。丸1日子ども達がふれ合ったり学んだり出来たらいい。

加藤：次の段階で夜間塾を広げていくのもいい。

(3) 西砂川地区文化会事業の体験について（昨年度実施）

①まゆ玉飾り（1月5日㊸開催） ②うどん作り（1月19日㊸開催）

石川：昨年は地運協の行事として参加した。今年度も皆さまの意向を確認したく記載した。

大橋：西砂川地区文化会事業の地運協メンバーの参加は講座を活かす意味でも良いと思う。新しい人達にどのように伝えていく事が課題。

(4) その他について

石川：子育てひろばと第2実習室のエアコンが壊れたが、12月補正で予算が付き個別での購入が決まった。

3. 報告及び連絡事項

(1) 前回の議事内容の確認（議事録）

大橋：何かあれば事務局へ。

(2) 地域学習館運営協議会交流会について（2月7日㊸PM6：30～開催）

石川：砂川学習館で開催。グループ討議はなしで各館が発表する。

加藤：地域学校コーディネーターの地運協への参加について、センター長は他でも行うように促進しているがまだ動きはなし。高松学習館では地運協に参加してもらえるよ

うに椅子を用意しているとのこと。

大橋：報告するとしたらサマーイベントと加藤委員も話していた西砂夜間塾がいい。課題は若手の地域人材の開発で大学生を発掘しきれていない。

(3) スタッフ研修会「地域学校協働本部事業」について

(3月24日㊤AM10:00~12:00 アイム 開催)

講師：五十嵐センター長

対象：地運協委員、生涯学習市民リーダー、市民推進委員会、センター職員

石川：センター長が講師。指導課で行っている事業が来年度は生涯学習推進センターに降りてくる。その中で「地域学校協働本部事業」についての説明を参加される皆さんにする。(調整中ではあるが生涯学習推進センターは来年度は更に忙しくなる。)

岩元：「地域学校協働本部事業」の中身が分かりづらい。

(4) フリースペースについて

大橋：12月7日松中小が土曜参観の為、子ども達が見えたのは11時半だった。カレーは予め作っていた。子ども達は9名参加。薩摩芋とブロッコリーをホットプレートに焼いてもらい作った喜びはあったのではと思う。21日はハンバーグを作る予定。

(5) 各委員からの報告及び連絡事項について

加藤：11月30日「市民交流クッキング」を西砂学習館で行った。先生と相談し子ども達の事を考えて土曜日に行う事になり、親子連れが多く来た。町内ごとに班を作りお友達や知り合いが出来たとの話があった。この講座は地域で長く続けることになり、1月には幸学習館、5月には錦学習館で行う予定。1年後位にまた西砂学習館で予定している。西砂学習館で行う市民企画講座が少ないという事であったが増やしていこうと思っている。

広瀬：市民科主催で傾聴講座を西砂学習館で行った。初めは5~6名の申込で心配したがチラシをポスティングした後、20名弱参加が有り良かった。非常にいい講座なのでこれからも続けていこうと思う。

12月4日井尾先生の在宅医療の講座を包括と行った。100名位の参加があった。今週の土曜日には砂川学習館で行う。

進藤：年明けに防災の講座を行う予定。マンション防災を今年も行っていたが住民同士で話し合いが出来る懇談会を2月に社会福祉協議会で開催したいと考えている。

ペットを飼っている人が増えていることからペット防災検討している。

長谷川：12月14日放課後むぎっこクラブの餅つきを予定。青少健ではお餅と一緒にけんちゃん汁を出す。前日準備で松中小の保護者にお手伝いをして貰う。1月12日に地域の賀詞交歓会を西砂会館で予定。

石川：出席させて戴きます。

長谷川：地域の方や学校の校長先生達が皆さん参加するので交流を図って戴ければ良い。

冬パトロールを12月21日と23日に行う予定。成長を祝うつどい実行委員会が成人式の準備をしている。今年は1月13日に立川リスルホールで開催。2月1日リスルホールで青少年育成研究発表の講演会があり題名は「高齢者の理解」。2月4日青少年育成研修会があり、今年はオリンピックミュージアムと江戸東京建物館にバスで行く。

岩元：1月5日まゆ玉飾り、1月19日うどん作り大会を予定。「社会を明るくする運動」の一環で毎年映画会を行っていたが今年はアイムホールが改修で使えなかった為、今年度分は3月1日に午前・午後2回に分けて映画「あの日のオルガン」上映。実話に基づく話で戦時中に保育園が疎開した内容。無料で鑑賞出来る。

森：12月3日西砂パソコン倶楽部の活動として「3つ折りパンフレットを作ろう」を行った。沢山お越し戴き皆さん楽しんでくれた。1月はデスクトップ整理のミニ講座、1月末には加藤委員に協力して戴いて「エクセル入門」講座を行う予定。西砂パソコン倶楽部の活動は5年位になり毎回分かり易いテキストが出来てきている。

私も犬を飼っていてペットが多いことは防犯上いい事なので是非ペット講座を開いて貰いたい。サマーイベントで毎回カレーを作ることは賛成で小林委員の負担を少なくなる方向でと思ってる。是非可能な限り協力していきたい。

増田：たちかわ・財政を考える会では、最新の資料集(市民財政白書第3弾)を予定通り、本年2月末に発刊する。企画政策課長にも「インタビュー」し掲載する。24日には立川市内の中学校で日野市の「財政デザイン研究所」が行う初めての授業を共同で行うための打合せをする。議会が開催中で本会議と総務委員会を傍聴したが、国の法律改定に伴う市長、職員、議員の収入増が満場一致で採択された。(多摩地区26市の内約半分の自治体では現状維持が議決された。)

大橋：先週の日曜日に立川市の人権学習事業映画「星に語りて」があった。東日本大震災を背景に、災害で被災した障がい者と支援者たちの活動を、実話をもとに描いた内容。監督は立川生まれで南富士見小学校と立川第八中学校出身。現在富士見町団地に住み、柴崎の映画活動にも貢献している。

加藤：「きらり・たちかわ」最新号が出来た。立川のロケ地の紹介をしている。